

令和7年度 長野県公衆衛生専門学校運営協議会

委員の皆様からのお言葉

【重点目標について】

・第3次健康日本 21 等を踏まえて歯科衛生士教育に即取り入れておられる学校の姿勢に称賛いたします。同時に先生方はその教育に当たり、ご自身の研鑽にも大変なご努力をなされていることと思います。老婆心ながら過剰な負担をされていないかと心配にもなります。

・オーラルフレイル対策についての学習は、今後とても重要な分野となります。「8020運動」が浸透し、高齢者の意識も高くなり、残存歯の多い高齢者の口腔内をどのように守っていくか、が大変になってくると思います。家族の中でも口腔内を見る機会は多くないと思うので、家族を巻き込んだフレイル予防対策は必要ですね。

【学校運営について】

・少子化が進み、学生の確保については本当にご苦労されていると思います。団体として協力できることがあれば何でもしていきたいと思っております。

【教育活動について】

・伊那市の乳幼児健診時に学生の皆さんに接する機会がありました。とても熱心に学んでおられる姿を目にしました。細かい点（母の様子、児の動き）まで気づかれ、積極的に質問してくるなど、とても感心しました。